

足利工業大学土木工学科 学生員 高野 宏一

足利工業大学土木工学科 正会員 中川 三朗

1. はじめに

高度成長時代は耐久消費財の充足、所得の向上など物質的なものの充実を求めてきた。しかし今日では、静けさ、うるおい、豊かな緑、きれいな水辺といった心の充実を求めつつある。しかし国民生活の質の面においては、国民一人一人が経済発展の成果に見合った豊かさを実感するにはいたっていないのが現状である。その一因として都市公園など国民生活の質の向上のための施設をはじめとする住宅・社会資本整備の立ち遅れがあることが指摘される。ここで都市公園とは、都市の緑とオープンスペースの中核として安全・健康・快適などを増進、確保する都市施設である。また、これから一層の都市化、高齢化社会の進展や余暇時間の増大等にともない、国民の憩いと安らぎの場である都市公園の果たす役割は従来にも増して増大するものと想定される。

そこで本研究では、都市公園でも住区基幹公園(地区公園・近隣公園・街区公園)に焦点をあて公園を利用者がどのように感じているのか質問項目を設定しヒアリング調査を行い、公園内部の利用面についての評価を分析・考察することを目的とする。

2. ヒアリング調査

各公園利用者の年齢及び利用者頻度、公園の雰囲気別満足度(美しさ・くつろぎやすさ・楽しさ・自然らしさ・安全性)、目的別利用割合(休息・運動・遊び・趣味・コミュニケーション・散歩・その他)とその満足度等の

表-1 各公園の名称、所在地、種別、面積、回収人数

公園名	所在地	種別	面積(m ²)	回収人数
金井公園	横浜市栄区金井町315-2	地区公園	49,153	60人
港南台西公園	横浜市港南区港南台4丁目34	近隣公園	26,016	44人
庄戸第一公園	横浜市栄区庄戸1丁目25	街区公園	6,424	27人
桂台第二公園	横浜市栄区公田町836-53	街区公園	2,670	18人

の質問項目についてヒアリング調査を行った。公園の雰囲気別満足度、目的別利用割合に対する満足度の評価方法は5段階評価(不満 1-やや不満 2-どちらでもない 3-やや満足 4-満足 5)とした。調査公園等の概要を表-1に示す。

3. 結果

1)各公園利用者の年齢及び利用者頻度

各公園利用者の年齢及び利用者頻度を表-2 及び表-3 に示す。金井公園では、20～39 歳(40%)の青年層を中心に月2～3回(53%)の利用を中心とした公園である。港南台西公園では、広世代に利用され週2～3回(43%)の利用を中心とした公園である。庄戸第一公園では、20～39 歳(30%)及び 40～64 歳(32%)の青年層及び中年層を中心に週2～3回(45%)及びほぼ毎日(37%)の利用を中心とした公園である。桂台第二公園では、65 歳以上(38%)の高齢者層を中心に週2～3回(50%)及びほぼ毎日(44%)の利用を中心とした公園であることが表-2 及び表-3 よりわかる。

表-2 各公園利用者の年齢

	19歳以下	20～39歳	40～64歳	65歳以上	合計
金井公園	13%	40%	25%	22%	100%
港南台西公園	23%	30%	27%	20%	100%
庄戸第一公園	19%	30%	32%	19%	100%
桂台第二公園	28%	17%	17%	38%	100%

表-3 各公園利用者の利用頻度

	年2～3回	月2～3回	週2～3回	ほぼ毎日	合計
金井公園	8%	53%	22%	17%	100%
港南台西公園	9%	23%	43%	25%	100%
庄戸第一公園	7%	11%	45%	37%	100%
桂台第二公園	6%	0%	50%	44%	100%

Keywords: 住区基幹公園、利用者評価、ヒアリング調査

〒326 栃木県足利市大前町 268-1

表—4 各公園の雰囲気別満足度

	美しさ	くつろぎやすさ	楽しさ	自然らしさ	安全性
金井公園	3.5	3.9	3.6	4.1	3.6
港南台西公園	3.0	3.7	3.1	4.2	3.5
庄戸第一公園	3.0	3.2	2.7	3.7	3.9
桂台第二公園	3.1	3.6	2.5	3.2	3.4

2) 各公園の雰囲気別満足度

各公園の雰囲気別満足度を表—4に示す。

表中の数字は各公園の雰囲気(美しさ・くつろぎやすさ・楽しさ・自然らしさ・安全性)を決める5指標に対する満足度(不満

1-やや不満 2-どちらでもない 3-やや満足 4-満足 5)を5段階で評価してもらい各公園利用者の満足度を平均したものである。金井公園では自然らしさが4.0、くつろぎやすさが3.9、楽しさ・安全性が3.6、美しさが3.5であることがわかる。港南台西公園では自然らしさが4.2、くつろぎやすさが3.7、安全性が3.5、楽しさ・美しさが3.0であることがわかる。庄戸第一公園では安全性が3.9、自然らしさが3.7、くつろぎやすさが3.2、美しさが3.0、楽しさが2.7であることがわかる。桂台第二公園ではくつろぎやすさが3.6、安全性が3.4、自然らしさが3.2、美しさが3.1、楽しさが2.5であることが表—4よりわかる。このことより、金井公園はどの指標も満足度が3.5以上で他の公園に比べ満足度の高い公園であることがわかり、反対に桂台第二公園はくつろぎやすさ以外は満足度3.5以下で他の公園より満足度の低い公園であることがわかる。また、どの公園も楽しさの指標の中で特に遊具の数や遊具の楽しさ、くつろぎやすさの指標の中ではベンチの質に対する満足度が低く、安全性の指標の中では金井公園及び港南台西公園で公園周辺の道路交通における安全性の満足度が低いことがわかった。

3) 各公園の目的別利用割合とその満足度

各公園の目的別利用割合とその満足度を表—5に示す。各公園の目的別利用割合を見るとどの公園も“散歩”と“コミュニケーション”の利用割合が高く満足も高いことがわかる。また、“その他”は通り道としての目的が主で、庄戸第一公園では40.7%、桂台第二公園では55.6%と利用割合が高い。

表—5 各公園の利用目的とその満足度

	休息		運動		遊び		趣味		コミュニケーション		散歩		その他	
	%	満足度	%	満足度	%	満足度	%	満足度	%	満足度	%	満足度	%	満足度
金井公園	61.7	3.9	51.6	4.1	21.7	3.5	15	3.7	33.3	4.4	50	4.1	18.3	3.5
港南台西公園	25	4.0	27.3	3.4	36.4	3.7	6.82	4.7	38.6	3.8	45.5	3.9	15.9	2.9
庄戸第一公園	18.5	3.2	40.7	3.7	37	3.4	0	0	48.1	3.4	59.3	4.1	40.7	3.8
桂台第二公園	61.1	3.6	83.3	4.0	16.7	3.3	11.1	2.5	61.1	3.9	61.1	3.7	55.6	3.3

4. 考察

今回のヒアリング調査において金井公園は公園内に野球場やテニスコートがあり週末を利用して来園する人が多いことから青年層を中心に週末利用される傾向にあると考えられ、港南台西公園では広世代に利用され日常的利用をされると考えられる。庄戸第一公園は青年層・中年層を中心として日常的利用をされる傾向にあると考えられ、桂台第二公園では高齢者層を中心として日常的利用をされる傾向にあると考えられる。各公園の雰囲気別満足度に対する満足度から公園面積の大小が公園の良し悪しを評価する一つの尺度になっているように思われる。しかし、どの公園も遊具の数、遊具の楽しさ、ベンチの質に対しては満足度が低かったため憩いや子供の遊び場としての機能をより充実させ施設のデザインや遊具内容の再検討をする必要があると考えられる。また、金井公園及び港南台西公園は公園周辺の道路交通に対する安全性の満足度が低いことから内部環境の充実だけにとどまらず、公園までのアクセスの快適性を重視した緑道・歩道の整備が必要に思われる。庄戸第一公園及び桂台第二公園では“通り道”としての利用が高いことから、日常動線としての機能性に注目し、この機能の整備を充実させ日常生活圏に密着し、より開かれた公園づくりを行うことにより街区公園の新たな公園像が望めるのではなかろうか。今後の課題としては、公園面積と雰囲気別満足度の関係性及び公園面積と目的別利用割合の満足度の関係性をより深く分析する必要がある。